



ノア通信

No.13 2017年3月15日発行

合併申請書を提出しました

去る2月19日に開催した臨時総会において NPO 法人むさしの里山研究会と NPO 法人るうぷを NPO 法人ノアに吸収合併することが決議されましたので、合併申請書を埼玉県に提出しました。これが受理されると、2か月間の縦覧を経て認証か不認証かの通知が届きます。認証されれば、2週間以内に各法人の財産目録と貸借対照表を作成するとともに、官報にて債権者申出の公告・催告をします。2か月間異議申出を受け付け、意義がなければ2週間以内に法務局へ合併登記を申請します。登記が完了すれば埼玉県に登記完了届出書を提出し、届出書が受理された段階で事務手続きが完了します。順調にいけば8月ごろに合併が成立する見通しです。

平成29年度定期総会のお知らせ

下記のとおり平成29年度の定期総会を開催します。

- 1 日 時 平成29年4月25日(土) 11時00分～12時00分
- 2 場 所 埼玉県大里郡寄居町桜沢490番地7 「憩いの家ノア」
- 5 審議事項
 - (1) 議長及び議事録署名人の選任について
 - (2) 役員を選任について
 - (3) 平成28年度事業報告案と収支計算書案の承認について
 - (4) 平成29年度(4月1日から合併成立の日まで) 事業計画案及び活動予算案について

(5) その他

自然の恵みを分かち合う交流イベント

今年は以下のイベントを予定しています。日程など詳細は新着情報でお知らせします。追加のイベントもあると思います。イベントは会員でなくても参加できます。

開催時期	イベントのタイトル	開催場所
5月上旬	川の生き物さがし	兜川（小川町）
6月下旬	ジャガイモとタマネギの収穫	ふれあい農園
7月上旬	ホタル観賞会	末野トンボ公園
7月下旬	健康茶づくり	憩いの家ノア
8月下旬	野菜の種まきと植え付け	ふれあい農園
9月下旬	アカトンボ観察会	男衾トンボ公園
10月下旬	納豆づくり	憩いの家ノア
10月下旬	豆腐作り	憩いの家ノア
11月上旬	みそづくり	憩いの家ノア
11月下旬	秋野菜の収穫	ふれあい農園
12月上旬	コンニャクづくり	憩いの家ノア
1月上旬	焼き芋づくり	ふれあい農園
2月下旬	ジャガイモの植え付け	ふれあい農園

里親の交流サロン

2か月に1回程度の間隔で、憩いの家ノアで開催します。参加は里親と里親支援機関、里親に関心のある方に限らせて頂きます。内容はこれまでのノアサロンと同様で、自己紹介や近況、里親の悩み相談、情報交換などです。昨年度は里親だけのサロンを行っていたのですが、参加者が少なく（前々回は1名、前回は0名）、参加者も固定化しているため、ノアの事業としては行いません。ただし、必要があれば、憩いの家ノアに集まって有志で行いたいと考えています。

第1回の日程は以下のとおりです。

開催日：平成29年4月18日（火）10時～12時

開催場所：憩いの家ノア

参集範囲：里親、元里親、里親希望者、熊谷児童相談所、近隣養護施設、近隣ファミリーホーム
など

参加費：無料

申し込み：不要

全国ウスバキトンボ初見日調査

昨年と一昨年に NPO 法人むさしの里山研究会が実施しました「全国一斉ウスバキトンボ調査」は、同会が今年度中に解散することになったため、NPO 法人ノアが引き継ぐことになりました。

これまでの調査で初見日情報は比較的多く集まったことから、本年は初見日調査のみを実施することにいたしました。引き続き皆様からの情報をお寄せくだされば幸いです。

これまでの調査では四国、中国、北陸の情報が不足しております（5 ページの図は神宮字さんが地図上に初見日をプロットしてくださったもので、これを見ると未記録県が分かります）。今年こそすべての都道府県の情報を集めたいと願っていますので、よろしくお願ひします。もしすべての地域での初見日が分かれば、日本に飛来したウスバキトンボが、どのような経路で北上、分散するのかの仮説が立てられるのではないのでしょうか？これまでの情報では、関東の海沿い地域の飛来は早く、内陸部への飛来は遅れる傾向が見て取れます。ウスバキは海に沿って飛来・上陸し、その後内陸に移動するのかもしれませんが。また、地域により成熟個体が極めて少なく、集団飛翔している個体のほとんどが未熟であり、繁殖行動時期に限られる、という傾向もあります。このことから、成熟個体は国外から飛来したもの、未熟個体は国内で羽化したものではないかと私は考えています。もし可能であれば、初見日近辺に見られる個体の成熟の有無についても教えていただけると有難いです（オスは赤化の有無で目視でも成熟度の判別が可能です。雌は採集して腹部腹面の白粉の有無を確認しなければならず、大変ですが）。

皆様から提供された情報は来年 3 月に取りまとめ「全国一斉ウスバキトンボ調査報告書 2017」として来年 3 月に皆様にお送りするほか、当会のホームページでも公表する予定です。初見日以外の情報をお寄せくだされば、それらも報告書に掲載させていただきます。

なお、次ページのように宮城大学の神宮字教授から、DNA 解析によるウスバキトンボの発生源調査への協力依頼があります。合わせて皆様のご協力を頂ければ幸いです。

初見日調査の情報提供は下記にお願いします。調査報告書は記録者の実名を出したいと考えています。もし匿名をご希望の場合は、情報提供時にその旨お伝えください。

E メールの場合：tombo2@d1.dion.ne.jp

ファックスの場合：048-581-4540

郵送の場合：〒369-1205 大里郡寄居町末野 1233-2 NPO 法人ノア

ウスバキトンボ成虫採集のお願い

【調査の目的】

宮城大学の神宮字と申します。ウスバキトンボ初見日調査に参加されている皆様に、私達の調査にご協力いただきたく、お願い申し上げます。

調査の目的は、「日本に飛来するウスバキトンボの発生起源を解明すること」です。発生起源を知るために、日本各地のウスバキトンボ成虫が必要となっており、皆様のご協力が得られれば幸いです。

【お願いしたいこと】

具体的なお願いは以下の通りとなります。

- ✓ ウスバキトンボ成虫の採集。
- ✓ 採集時期は、初見日頃がのぞましいです。その後は、採集可能な時期で結構です。
- ✓ 採集個体数は、いくつでも結構です（多ければ多いほど良いです）。
- ✓ 採集した個体は、こちらからお送りする三角紙に包んでいただき、日付と採集場所を記入。
- ✓ 採集した個体はレターパックで宮城に郵送。

*こちらからお送りするもの：三角紙、レターパック、プラスチックケースなど

*別紙は、全国一斉ウスバキトンボ調査報告書 2015, 2016 (むさしの里山研究会) から作成した初見日マップです。参考にさせていただければ幸いです。

上記のような手順を考えています。ウスバキトンボの飛翔個体は採集が難しく、私も採集に苦勞しております。少々無理なお願いと存じますが、トンボ好きの方々の底力を発揮して、是非ともご協力いただければ幸いです。

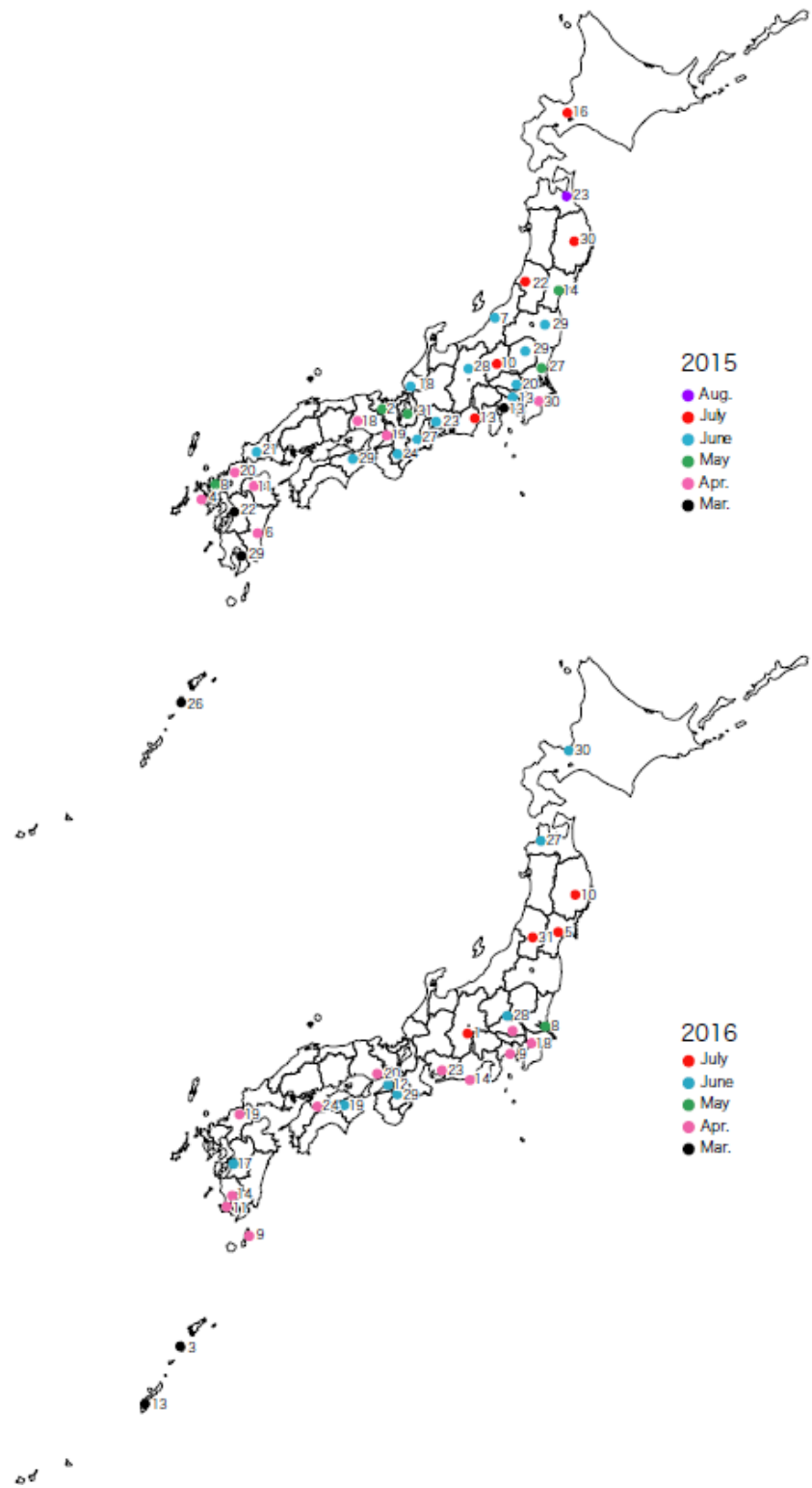
【連絡先】

調査にご協力いただける方は、下記にご一報いただけますでしょうか。こちらから三角紙などをお送りいたします。

Eメール : jinguji@myu.ac.jp

FAX&TEL : 022-245-1450

郵便 : 〒982-0215 仙台市太白区旗立 2-2-1 宮城大学 神宮字寛



全国一斉ウスバキトンゴ調査報告書（むさしの里山研究会）をもとに神宮字寛氏作成

憩いの家ノアの道順

憩いの家ノアは4月のオープンに向けて、準備中です。4月からはここで様々な交流活動を行います（これまで末野にあった憩いの家ノアを移転する形になります）。前回のノア通信で地図を示しておきましたが、分かりにくいので改めて道順をお知らせします。

玉淀駅から徒歩の場合

東武東上線の玉淀駅から歩いて5分ほどです。駅を降りて右方向に向かうと、すぐに車道に出ます。その道を右方向に進み、踏切を渡ります。最初の信号（役場方面の表示あり）を左折すると、すぐに左手にあります。

寄居駅から徒歩の場合

寄居駅北口（改札を出て左）から歩いて10分ほどです。ロータリーの道を直進し、道が左に急カーブする手前を右折します（動物病院があります）。信号を過ぎて踏切を渡ると、間もなく右手にあります（志村歯科医院の斜め向かいです）。

寄居方面から車の場合

国道140号を秩父方面に向かい、役場方面の信号（左手は眼鏡市場、前方右手は洋服の青山）を左折、最初の信号（右方向は役場方面）を左折、踏切を渡って間もなく右手にあります。

秩父方面から車の場合

国道140号を熊谷方面へ、洋服の青山の信号を右折、最初の信号（右方向は役場方面）を左折、踏切を渡って間もなく右手にあります。

なお、カーナビ使用の場合は住所を寄居町桜沢490-7と入力してください。



憩いの家ノアの入口です。アスファルト舗装された広い庭が目印です。

ジャガイモの植え付け作業にご協力ください！

2月25日にジャガイモを植え付けました。植え付けを終えたのはダンシャク10kgとキタアカリ5kgです。今回はメイクイーンを植え付ける予定です。収穫は6月下旬から7月上旬になる見込みです。収穫物は皆様に買っていただければ有難いです。一部は会員が経営するセブンイレブンの店頭での試験販売をお願いする予定です。

3月の植え付け作業は下記のとおりです。作業を手伝って下されば幸いです。手伝って下さった方には、お礼として収穫時に10株分のイモを差し上げます。

日時：平成29年3月25日（土）午後1時～2時

場所：寄居町用土のふれあい農園

雨天：中止

持ち物：長靴、軍手

参加申し込み：不要です。作業時間中に現地にお越しください。

ジャガイモの植え付けのほか玉ねぎ畑の草むしりも行う予定です。虫好きな子供さんは虫取りやザリガニ採りもかねてご参加ください。

水道法と種子法が廃止？

最近のニュースは森友学園や豊洲への移転問題でもちきりですが、今国会で水道法と種子法の廃案が審議されているとのことです。一言でいうと、これまで水道水の提供や、コメなど主要作物の品種の提供を公的に実施してきた根拠となる法律を廃止し、これらのサービスを民営化、市場化するというのが狙いのようです。民営化によるメリットもあるのですが、主食と水という命の根幹にかかわるものを民間に託して良いのか？という疑問が生じます。おそらく与党の賛成多数で成立するでしょうが、こうした人々の暮らしにかかわるニュースこそ、週刊誌やワイドショーなどで取り上げて欲しいものです。

幼い頃の生き物体験記を募集したいです

里山の自然が失われたのは、昭和40年代以降だと言われます。昭和30年代までは自然が豊かで、人々はその自然の恵みを分かち合いながら暮らしてきました。まさに当会が目指していることが、当たり前に行われていたのです。その頃は、夕方ギンヤンマが群れ飛び、それを捕まえる子供たちで原っぱはにぎわっていました。水路ではウナギやドジョウを捕まえたということです。私は昭和23年に生まれ、東京で育ちましたので、当時すでに東京には生き物は貧困で生き物体験はほとんどありませんでした。しかし、同世代であっても、田舎で生まれ育った方は豊富

な生き物体験をお持ちではないでしょうか？とりわけ、戦前～戦後に幼少期を過ごされた方は、都会でもたくさんの生き物に囲まれ、生き物との豊かな経験をお持ちだと思います。最近では戦争体験記や昭和の暮らしを記録した写真集が出版されていますが、幼少期の生き物とのふれあいを記録した体験談集というものは見かけません。今でないとこのような記録を残すことはできません。体験記を書いて下さる方が20名ほどになれば、小冊子として印刷し残しておきたいと思います。

編集後記

平成29年度最初のノア通信をお届けします。これまでの会員の皆様、並びに里山研究会から移行して下さった方々、今年度もどうぞよろしくお願い致します。

当会の活動状況はこのノア通信でお知らせするとともに、目下準備中のホームページで直近のイベントなどをご案内します。

幼い日の生き物体験記の原稿をぜひお寄せ下さい。字数など自由です。20編以上集まった段階で印刷します。また、皆様からのご意見やご要望などもノア通信に載せたいと思いますので、ご寄稿をお待ちしています。

次号は総会前に総会資料をお送りする必要がありますので、4月中旬に発行します。

その際、今年度会費納入用の郵便振替用紙を同封しますので、よろしくお願い致します。(Y.A)

ノア通信13号

NPO法人ノア 〒369-1205 大里郡寄居町末野1233-2 新井方

TEL&FAX 048-581-4540 E-mail tombo2@d1.dion.ne.jp

年会費：1000円

郵便振替口座：00110-4-387364 加入者名：特定非営利活動法人ノア

銀行から送金の場合は、0一九店、当座、0387364、特定非営利活動法人ノア